

健康組合では
「こんいちばー」

株式会社ナミツの巻 (市原市)



時がたつのは早いもので令和初の師走となりました。5月に新元号を迎えた喜びもつかの間、9月9日に千葉県を直撃した台風15号が長期にわたる停電や断水、家屋損壊などの甚大な被害を引き起こしました。また災害復旧のさなか、10月12日にも台風19号が関東・甲信越、さらには東海、東北地方にも、突風や大雨による河川の氾濫、土砂災害などをもたらし、各地で被害が拡大しました。

官民一体となって復旧作業が行われましたが、数カ月たった現在も復旧作業は続いており、避難生活を強いられている方もいらっしゃいます。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された

皆さまに心よりお見舞い申し上げ、1日も早い復興を祈念いたします。災害時の備えとして、ご自宅や勤務先周辺の避難場所や避難経路、ハザードマップなどを今一度確認されてみてはいかがでしょうか。

★★★

朝晩の涼しい風が秋の到来を告げる一方、夏のように暑かった10月4日、第76回の実業所訪問先として市原市に本社を置く株式会社ナミツ（竹之上誠直社長）を訪問しました。

市原市は千葉県の中央部に位置し、面積は県内最大で温暖な気候と海・山の幸に恵まれた土地です。市の南は房総丘陵に連なって自然

が広がり、市を縦貫するように流れる養老川によって形成された渓谷では、溪流釣りやハイキングなどが楽しめます。今回の訪問先は千葉県道路蘇我インターチェンジと館山自動車道市原インターチェンジの中間に位置します。

「こんにちは健康組合です！」と事務所を訪ねると、当健康組合の健康管理委員として日頃から保健事業の企画立案にご協力をいただいている今川氏が出迎えてくださり、応接室に案内され、大変お忙しい中、今回の取材に快く応じてくださった竹之上社長にお話を伺いました。

鋼構造物の輸送を 主力業務に

同社は昭和25年に浪速通運株式会社として大阪で産声をあげました。設立当初は繊維と鉄鋼という異なる業種の荷物を取り扱っていましたが、昭和30年代に繊維部門から撤退し、鋼構造物の取り扱いを主たる業務としました。

個々人の技能に敬意を払い、 次の世代に 引き継ぐことが大事

次に社員の教育について伺いました。同社では現場主義が徹底されており、長年同社の社員が積み重ねてきた経験や技術を直に学ぶてもらえるよう、経験豊富な社員に直接の指導を任せているそうです。業務効率と質の向上を図るだけでなく、取り扱う製品などを熟知する社員に教育係を任せ、特に危険を伴う現場での作業では厳しく指導を行ってもらい、事故防止に努めているとのこと。また、ドライバーの高齢化が進む中で、取引先との関係などにも詳しい乗務経験のある社員に事務職に就いてもらうことが管理部門の強化にも繋がるとのお話でした。

続いて話題は今後の展望へと移り、竹之上社長は、「さまざまな分野に共通することですが、近年、飛躍的に技術が進化している状況から、現状を維持したまま未来永劫に安定した経営を続けていくこ



▲竹之上誠直社長

当時、鉄塔・水門・橋梁の運搬を請け負っている中で、東京オリンピック開催を機に施工された首都高速道路の工期重視の工事が発生したトラブルを初代社長が早期に解決したことが多くの関係者から評価され、全国的な配送を担うようになり、さらに多方面からの確実な信頼を得るようになりました。その後、メインの取引先の関東進出に伴って千葉に拠点を移し、移転後は関東で初めてポールトレーラー使用の許可を受けました。と同時に、同業者の総元請けとして事業を展開し、大阪・名古屋・仙台にも営業所を構えました。竹之上社長は平成12年に3代目として経営基盤を引き継がれていらっしゃいます。

フで健康法はウォーキングとのこと。数年前にご自身の健康管理を強く意識される出来事があり、体重を減らすことを目的とした方法について試行錯誤されたそうです。そうした中で、健康的に痩せる結果につながったのが歩くことだったそうで、現在も毎日時間をつくって、1日1万歩を目指し、ご自宅の周辺を散歩されているとのこと。さらに禁煙を達成されたというお話を伺い、感服いたしました。

★★★

バイタリテイ溢れる社長のお人柄とトーク力で、笑いの絶えない取材もあつという間に時間となり、終了することになりました。

今回の取材で、同社が常にパートナー企業を大切にしている姿勢を伺い知ることができました。企業経営は私たちが想像する以上のご苦労があると思いますが、これからも健康に留意され、ますます活躍することを祈念しております。

竹之上社長をはじめ社員の皆さま、ご協力ありがとうございました。



健康は1日にして成らず！ できることから「ツツツ」と

社長ご自身の趣味や健康法についてお伺いしたところ、趣味はゴルフ